

氏名	松下 誠	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	臨床化学、酵素学、病態検査学				
学位	博士(医学)				
学歴	東京理科大学理学部化学科				
経歴	昭和大学藤が丘病院中央検査部、埼玉県立衛生短期大学講師、スウェーデンウメオ大学臨床生化学教室研究員、埼玉県立大学短期大学部助教授、埼玉県立大学教授、埼玉県立大学大学院教授(兼務)				
所属学会(役職)	日本臨床検査学教育学会(理事)、日本臨床化学会(評議員)、日本臨床化学会関東支部(常任幹事)、日本電気泳動学会(評議員)、日本臨床検査自動化学会(評議員)、日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本分析化学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	大学院はもっと臨床検査の実践研究を行うべき —自動分析法を特別研究テーマとする埼玉県立大学大学院臨床化学研究室の取り組み—	単著	あり	臨床検査学教育、11(2)、230-236.	松下 誠	2019.9
2	蛋白標準血清による校正は低アルブミン血症におけるBCG法と改良BCP法の乖離の原因となる	共著	あり	日本臨床検査自動化学会誌、44(5)、610-617.	中島一樹、永井謙一、巖崎達矢、村本良三、清宮正徳、大澤 進、松下 誠	2019.11
3	ビウレット法による血清総蛋白値により適合する蛋白分画法および支持体の相違に伴う各分画値の変動に関する検討	共著	あり	日本臨床検査自動化学会誌、44(5)、624-629.	黒坂響歌、田中満理奈、米倉雄己、山口奈摘美、巖崎達矢、中島一樹、松下 誠	2019.11
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	臨床検査の実践研究で学位を取得する、埼玉県立大学大学院臨床化学研究室の取り組み	単独		第68回日本医学検査学会、下関市	○松下 誠	2019.5
2	LD活性測定とLDアイソザイム分析における基質濃度の相違	共同		第68回日本医学検査学会、下関市	○田中満理奈、山口奈摘美、巖崎達矢、松下 誠	2019.5
3	コレステロールとトリグリセライドの和を染色する新たなリポ蛋白分画法の評価	共同		第68回日本医学検査学会、下関市	○山口奈摘美、田中満理奈、巖崎達矢、松下 誠	2019.5
4	標準化対応法試薬による酵素活性の測定とJSCO勧告法との関係	共同		第68回日本医学検査学会、下関市	○巖崎達矢、佐藤勝也、神山清志、山口純也、松下 誠	2019.5
5	推算糸球体濾過量(eGFR)算出に好ましい血清クレアチニン測定の条件設定に関する検討	共同		第68回日本医学検査学会、下関市	○巖崎達矢、佐藤勝也、松下 誠	2019.5
6	自動分析機の前希釈システムを応用した尿蛋白測定法による血清総蛋白測定	共同		第14回日本臨床検査学教育学会学術大会、熊本市	○中山日向帆、山口奈摘美、田中満理奈、巖崎達矢、小柳恵美、志村彩夏、大澤 進、松下 誠	2019.8
7	コレステロールとトリグリセライドの和を染色する新たなリポ蛋白分画法の活用、TC、HDL-C、TGなどの脂質検査を組み合わせた評価の可能性	共同		第14回日本臨床検査学教育学会学術大会、熊本市	○志村彩夏、山口奈摘美、田中満理奈、巖崎達矢、小柳恵美、中山日向帆、松下 誠	2019.8

8	低アルブミン血症における乖離を回避した2試薬系BCG-2点校正法の検討	共同	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会、熊本市	○小柳恵美, 山口奈摘美, 田中満里奈, 巖崎達矢, 小柳恵美, 志村彩夏, 中山日向帆, 清宮正徳, 大澤 進, 松下 誠	2019.8
9	酵素法でコレステロールとトリグリセライドの和を染色する全自動リポ蛋白分画法の検討	共同	第59回日本臨床化学会年次学術集会、仙台市	○山口奈摘美, 田中満里奈, 巖崎達矢, 斎藤央将, 飛山理絵, 戸塚 実, 松下 誠	2019.9
10	血液型や食事の影響を受けないIFCC法を用いるALP活性測定	共同	第59回日本臨床化学会年次学術集会、仙台市	○田中満里奈, 山口奈摘美, 巖崎達矢, 松下 誠	2019.9
11	ピロガロールレッド法の血清総蛋白測定法への応用	共同	日本臨床検査自動化学会第51回大会	○中山日向帆, 米倉雄己, 巖崎達矢, 大澤 進, 松下 誠	2019.10
12	血清アルブミン測定における改良BCP法との乖離を軽減した2試薬系BCG-2点校正法の検討	共同	日本臨床検査自動化学会第51回大会	○小柳恵美, 中島一樹, 巖崎達矢, 清宮正徳, 大澤 進, 松下 誠	2019.10
13	酵素法による全自動リポ蛋白分画と各脂質検査とを組み合わせたリポ蛋白中TG量の簡易測定	共同	日本臨床検査自動化学会第51回大会	○志村彩夏, 山口奈摘美, 巖崎達矢, 松下 誠	2019.10
14	LD活性測定の勧告法の変更とLDアイソザイム検査との関係	共同	日本臨床検査自動化学会第51回大会	○田中満里奈, 山口奈摘美, 巖崎達矢, 松下 誠	2019.10
15	JSCC法およびIFCC法におけるLDアイソザイムの反応性の相違	共同	2019年度日臨技首都圏支部・関甲信支部医学検査学会、東京都	○田中満里奈, 山口奈摘美, 巖崎達矢, 松下 誠	2019.11
16	JSCC法およびIFCC法におけるLD1とLD5の反応性の相違に関する検討	共同	第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○田中満里奈, 山口奈摘美, 巖崎達矢, 松下 誠	2019.12

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本臨床化学会関東支部分科会プロジェクト	アミラーゼ活性測定の勧告法と日常検査法に選択する標準化対応法との相違(博士前期課程学生特別研究)	研究分担者	2018.9~2020.8
2	埼玉県立大学奨励研究(A研究)	尿蛋白測定法の血清総蛋白測定法への応用	研究代表者	2019.4~2020.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床化学分析	○	15	私が編著である臨床化学検査学を教科書として講義を実施した。
2	臨床化学検査学	○	8	私が編著である臨床化学検査学を教科書として講義を実施した。
3	臨床検査概論		1	臨床化学検査の入門に関わる資料を作成して講義を行った。
4	生体情報評価学		3	臨床化学研究法についての資料を作成して講義を行った。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床検査薬演習	○	8	本学オリジナルの演習テキストを作成して実施した。
2	健康福祉科学演習	○	15	特別研究指導教員として大学院生に文献抄読会を実施した。
3				

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床化学分析実習	○	23	本学オリジナルの実習テキストを作成して実施した。
2	臨床化学検査学実習	○	23	本学オリジナルの実習テキストを作成して実施した。
3	臨地実習		2019.10～2020.3	1施設の担当教員として実習のマネージメントおよび指導を行った。
4	ヒューマンケア体験実習		23	1施設の担当教員として実習のマネージメントおよび指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2020.3	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文	2019.4～2020.3	主指導(指導教員) 3名	副指導(指導補助教員) 1名
3			主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	学年間交流会開催	2019.4～2020.3	学部生および大学院生の計17名を対象に交流会を2回開催した。	
2				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日常検査法の選択	日本臨床化学会	第59回日本臨床化学会年次学術集会 シンポジウム3 司会および講演(講演タイトル、ALP活性測定、JSCC法と IFCC法)	2019.9
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本臨床検査学教育協議会	常務理事		2019.4～現在
2	日本臨床検査学教育協議会	法務委員会副委員長		2019.4～現在
3	日本臨床衛生検査技師会	機関誌『医学検査』査読委員		2007.4～現在
4	日本臨床化学会	ALP標準化プロジェクト委員		2014.4～現在
5	厚生労働省	臨床検査技師試験委員		2015.6～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	株式会社 ヘレナ研究所	リポ蛋白分画検査試薬の共同開発	2017.4～現在
2	産業支援	株式会社 ヘレナ研究所	乳酸脱水素酵素アインザイム検査試薬の共同開発	2019.4～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教授会代議員		2019.4～2020.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス(模擬実習3日間)		2019.6～2019.8
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会優秀発表賞(卒業研究指導学生受賞)	日本臨床検査学教育学会		2019.8
2	日本臨床化学会学会賞 Young Investigator Award(博士前期課程指導学生受賞)	日本臨床化学会		2019.9
3	第59回日本臨床化学会 トラベルアワード(博士前期課程指導学生受賞)	日本臨床化学会		2019.9
4	日本臨床検査自動化学会第51回大会 JACLaS Award 2019(卒業研究指導学生受賞、2件)	日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会		2019.10
5	第47回埼玉県医学検査学会優秀発表賞(博士前期課程指導学生受賞)	埼玉県臨床検査技師会		2020.3

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			